

いつ起きても おかしくない災害

災害の種類によって、発生前に注意すべき情報はいろいろあります。また、避難の方法も災害によって最も適切な方法は違ってきます。地震災害、台風災害、豪雨災害について、その種類ごとの大きな特徴をあげてみました。

いろいろな種類がある 避難に関する情報

災害が発生する危険性のある地域の方へは、市から防災行政無線や高山防災ラジオ、安全安心メール、広報車などで避難に関する情報をお知らせします。

○避難準備情報

災害が発生する恐れが高まってきた場合に、避難の準備を促すために発表する情報です。高齢者などの災害時要援護者の方は、この時点で支援する方と一緒に避難行動を始めてください。

○避難勧告

災害が発生する恐れがより高くなった場合に、避難所などへ避難を始めることを勧めるための情報です。発表されたら近所の方にも声をかけて安全に避難所まで避難してください。

○避難指示

避難勧告よりも災害の緊急性、重大性が強い意味があります。ただちに安全に避難を開始してください。

地震編

家族みんなで 日ごろから確認 まずは落ち着いて行動

大きな揺れがくる数秒〜数十秒前に、防災行政無線のサイレンや屋内の緊急地震速報受信機、高山



阪神・淡路大震災

○緊急地震速報

気象庁で観測された現象が東海地震の前兆である可能性が高いような場合、「東海地震注意情報」や「東海地震予知情報」などがテレビやラジオ、市からの連絡などで伝えられます。

○東海地震に関する情報

住宅の耐震化や家具の固定、非常持出品や食糧の備蓄などを準備しましょう。また、家族で避難場所や避難経路を確認しておきます。

○日ごろから準備

住宅の耐震化や家具の固定、非常持出品や食糧の備蓄などを準備しましょう。また、家族で避難場所や避難経路を確認しておきます。

揺れがおさまったら

あわてず落ち着いて行動します。テレビ・ラジオなどで情報を確認します。家族の安否、火元の確認をします。出火していたら周りの人を呼んで初期消火します。

避難所への避難

家を離れる場合は、電気のブレーカーを切って、近所の人と一緒に避難します。連絡先や避難先のわかるメモを残しておくといいでしょ。また、壊れた家は余震で崩れることがありますので入ってはいけません。

もし、1日前に戻れたら…。体験者から伝えたいこと

大工の私が一番後悔

平成16年新潟県中越地震 小千谷市60代男性

私は大工をして
いるものですから、
いわゆる家財道具
の転倒防止という
ことは知っていましたが、まさかこういう大地震がくるとは夢にも思わなかった。今回の地震では家の構造自体もですが、家具の転倒がものすごくあったんです。

ですから、やはり転倒防止、たとえば食器棚とかタンスとか、わずかなことだけど、しておけば被害が軽くすんだかなと。一番後悔している感じがしています。